

健康づくり実践に効果

NPOの予防医学勉強会

NPO法人地域診療情報連携協議会(瀧澤清美理事長)は大学や医療機

関と協力し、2月から前橋市内で週1回、住民を対象とした手作りの予



テレビ電話による相談。目玉のマイクが愛嬌

防医学勉強会を開いている。テレビ電話による医療相談を取り入れたユニークな事業で、参加者の自主的な健康づくりに効果があることがわかった。11月4日に「全国ボランティアアフェスティバルぐんま」で発表する。

後に日本遠隔医療学会会員の山口典秀医師(東京都)がテレビ電話で参加者の質問に答える。同学会の「市民参加の遠隔医療」研究にも位置付けられ、来年3月まで計51回開催の予定。

勉強会は毎週火曜日正午から、前橋市総社町の「けんこうサロンなでい」で開催。弁当を食べ、軽い体操で体をほぐした後、健康に関する講話を聞く。講師は群馬大学医学部附属病院の酒巻哲夫教授をはじめ、地元診療所院長の深沢遼太、菊池孝尚医師が協力。最

通ってくる住民約30人のうち、半年以上経過した9人にアンケートを取ったところ、「参加前と比べ生活に変化があった」と回答したのは8人。「食べ物に気をつけるようになった」「体重計に毎日乗る」「朝夕ジョギングしている」など積極的に健康づくりを実践中。「勉強会の話の家

族にする」は7人だった。同NPOはこの結果をボランティアアフェスの分科会「私たちの望む医療・保健・福祉」で発表する。また、経費をかけずに勉強会を開く工夫も公開する。会場の健康サロンは元水車小屋の建物を借り、講師はボランティア、パソコンを含む備品は寄付などでまか

た。テレビ電話も無料のシステムを利用。生命保険会社から研究費の補助が付き、参加者の負担は弁当を含め200円で済んでいる。

瀧澤理事長は「病気をどう予防するかわからない人は多い。お金を掛けないで健康づくりができるモデルとして広めたい。参加はいつでも歓迎します」と話している。連絡先は027-251-5515。

族にする」は7人だった。同NPOはこの結果をボランティアアフェスの分科会「私たちの望む医療・保健・福祉」で発表する。また、経費をかけずに勉強会を開く工夫も公開する。会場の健康サロンは元水車小屋の建物を借り、講師はボランティア、パソコンを含む備品は寄付などでまか

た。テレビ電話も無料のシステムを利用。生命保険会社から研究費の補助が付き、参加者の負担は弁当を含め200円で済んでいる。

瀧澤理事長は「病気をどう予防するかわからない人は多い。お金を掛けないで健康づくりができるモデルとして広めたい。参加はいつでも歓迎します」と話している。連絡先は027-251-5515。

族にする」は7人だった。同NPOはこの結果をボランティアアフェスの分科会「私たちの望む医療・保健・福祉」で発表する。また、経費をかけずに勉強会を開く工夫も公開する。会場の健康サロンは元水車小屋の建物を借り、講師はボランティア、パソコンを含む備品は寄付などでまか

た。テレビ電話も無料のシステムを利用。生命保険会社から研究費の補助が付き、参加者の負担は弁当を含め200円で済んでいる。